

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年2月10日				
ルフレいなぎ 児童発達支援事業所						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	50.0%	50.0%	お子さんへの直接支援は実施しておらず、所属園でのお子さんの様子の見学を通して、お子さんがより過ごしやすくなるための工夫や手だてを所属園の先生と一緒に検討している。その際に必要であれば、事業所で使用している支援グッズを持参したり、写真で見せることがある。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0%		一回の訪問では、一人のお子さんの訪問支援を行っている。それにより、細かくお子さんの様子を把握でき、所属園の先生と丁寧な話し合いができています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		100.0%	事業所として、全体会議で課題等について検討している。	会議に参加していないスタッフからの意見は全体で共有できておらず、その仕組みが必要。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50.0%	50.0%	事業所としてオンブズマンやスーパーバイズを導入しており、定期的に訪問してもらっている。	保育所等訪問支援事業の相談や評価はできていないため、当事業の相談をする機会を設ける。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%		法人内研修と事業所内研修、事例検討会などを実施している。	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100.0%			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%		当事業所の児童発達支援事業を利用しているお子さんが多いため、グループ療育での様子も踏まえて計画を作成している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100.0%		サービス開始前に所属園に訪問し、園での実際の様子をもとに事業の目的も含め、園の先生と共有している。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%		訪問支援員は担当制となっているため、担当が計画を作成し、それに基づいた支援を行っている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	50.0%	50.0%	日々の振り返りでは、グループ療育の担当者とお子さんの様子や変化を共有している。児童発達支援事業を利用しているお子さんが多いため、その中で使用しているアセスメント表を使用し、お子さんの全体像を把握している。訪問時のお子さんの様子だけでなく、所属園の先生から、日常の様子を確認している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年2月10日				
ルフレいなぎ 児童発達支援事業所						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
適切な 支 援 の 提 供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		100.0%	訪問支援員は担当制となっている。 児童発達支援事業を利用している場合は、グループでの様子を確認のうえ、訪問するようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%		事業所として振り返りを実施し、情報共有をしている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100.0%		訪問支援開始時には、園の話を伺うなど園の方針等を把握するようにしている。 先生方とお話する中で、無理なく取り組める支援を検討するようにしている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100.0%			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%		半期に一度、支援計画を見直し、再作成をしている。	
関係機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	50.0%	50.0%	グループ療育や個別療育、保育所等訪問支援事業の担当者など、こどもに関わる職員が参加するようにしている。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50.0%	50.0%		事業所として、障害福祉課や子ども家庭支援センター、他事業所など必要に応じて連携しているが、十分とは言えない。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100.0%		事業所として就学支援シートを作成している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100.0%			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	50.0%	50.0%	管理者が地域のこども部会に参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%		訪問後には必ず保護者の方に園での様子や先生と話し合ったことなどを報告している。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100.0%			
保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100.0%		サービス開始前に園に訪問し、事業の目的を伝えている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%		サービス開始前の園訪問の報告時に、保護者のニーズを確認している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100.0%			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100.0%		毎月の訪問後の報告時にご家庭の様子も伺い、必要に応じて相談をお受けしている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	50.0%	50.0%	事業所として年2回保護者オリエンテーションや保護者交流会を実施している。	交流会は参加者が少なく、交流の機会に至っていない。参加者が増えるような内容や周知の仕方などの工夫が必要。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ルフレいなぎ 児童発達支援事業所					公表日 令和8年2月10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
保護者等への説明等	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%					
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		100.0%	事業所としてルフレだよりの発行やオリエンテーションでの事業報告などを行っている。	保育所等訪問支援事業の内容等には触れられていない。		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%					
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%					
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100.0%		必要に応じて、訪問先からの電話相談をお受けすることや、児童発達支援事業の担当者の訪問、合同カンファレンスなどを実施する体制を整えている。			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100.0%					
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100.0%		訪問後には必ず保護者の方に園での様子や先生と話し合ったことなどを報告している。			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%					
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100.0%		園の方針や環境に応じて、取り組める内容の助言を行っている。利用児への関わりだけでなく、保護者の方への伝え方なども助言している。			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	50.0%	50.0%	事業所として各種マニュアルを作成している。	ご家族への周知ができていないため、「コードモン」アプリを活用し、周知を進めていく。		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	50.0%	50.0%	事業所として安全計画を作成している。			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%					
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%		事業所内で研修を実施し、自分たちの支援を振り返る機会を設けている。 また、所属園での気になる関わりについては稲城市に報告している。			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100.0%					